各 位



2025 年 11 月 12 日 株式会社リットーミュージック

90 年代 R&B のリアルを伝える厳選エッセイ集! 書籍『松尾潔のメロウな記憶』が 11 月 21 日に発売に



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:松本大輔)は、『松尾潔のメロウな記憶』を、2025 年 11 月 21 日に発売します。

『松尾潔のメロウなライナーノーツ』(6月刊)に続いて登場する本書には、主に90年代に執筆された雑誌の連載や特集記事、エッセイを厳選して収録。その時々の流行歌(R&B)について、チャート情報やアーティスト同士のつながり、プロデューサーやA&Rの存在をもとに魅力の源泉を探っていく姿は、享楽的であると同時に求道的な厳しささえ感じさせます。

そして、前作同様さまざまなアーティストとの会見の模様が描かれているのも大きな特徴で、ジェイムズ・ブラウン、クインシー・ジョーンズ、スパイク・リーからジャネット・ジャクソン、ホイットニー・ヒューストン、マックスウェルといった面々と繰り広げられる若き松尾潔のやりとりには、ときにヒヤヒヤし、ときに深く頷き、ときに爆笑させられることでしょう。

巻末には、2000年に実現した井上三太との「アトランタ美メロ紀行」も収録。スマホ登場以前の 珍道中の楽しさが、どこかノスタルジックな魅力を湛えています。

はじめに――レコード屋の夜に思うこと

002

──やっぱり、買うのやめようかな。

いったい今週の何間レン屋で全を落としたというのだ。今日くらいは、せめてこの潮末くらいは、手ぶらで放を出てきょっと整次を女学でもすればいい。セルタのは、今日くらいは、せめてこの潮末くらいは、手ぶらで数を分あった場所に戻し、欲しい顔で店を出ればいい。 思慮分別とはそういうものだろう。 とうしょうか、まけ間に合う。 今なら、質わずじを数を全めった場所に戻し、

たまい、ままよ。やっぱり買うしかない。次はどこで会えるかわからない、この音盤を、どうしようか。まだ間に合う。今なら、買わずに家路を急ぐ道に、趣味と通切な距離を係つような人生に、とえい、ままよ。やっぱり買うしかない。次はどこで会えるかわからない、この音盤を係つような人生に、

第次の関心から飛び降らる整備で、しかくもやの中内礼をさび、そうと並じばす。加えて軽度を指数、なん がが流いてしまいそうだ。うれしいのか、かなしいのか、せつないのか。自然でもよくかからないけれど。 けれど、「時間後、安いアパートの角部間に帰ってきたばなは、もはや一かの学生ではなかった。 なたしも自分は、音動に対じ込められた「うつくしい数十分間の世界」の所有者なのである。

こんな気分の主を指していたのではないか。大袈裟に過ぎるだろうか。

リコードに針を落とす。その一瞬の沈黙を、いまも鮮やかに覚えている。空気がわずかに讃え、やがて音が 小さな部屋を落とす。その立ち上がりには、祈りにも妖な気配があった。ぼくにとって音楽とは、ただ聴くも のではなく、心の実に降り積もる時間の層を振り当てる行為だった。

- その「聴く」という行為に関っていたつうましい妄想感が、少しずり導れていったのはいつの作品に関わるようになり、さらに時が跳れ、音楽はデータとなり、担先の操作がようで世界上結とようになった。便利さは確かに人を自由にした。けれどその自由のなかで、音の物話ほどよか違くへ美っていった気もする。

それでも、かつて偏愛した歌声は、旋律は、音像は、消えはしない。心の底に沈んだかに思えた音楽の記憶は、ある日不意に息を吹き返す。それは失われたのではなく、静かに眠っているのだ。

配点をたされば・「アメリカの風人大衆を楽しば巻きがていた若い日の旅に行き着り、まだインターネットが考えしていなかった時代、現地で聴いたかりメルを日本語に移しかえら作業は、翻訳であり、同時に「将漢)でもおりた、音葉を語さらことは、自分の北岸を与りメルを日本語に移しかえら作業は、翻訳であり、同時に「将漢)でもおりた。 古書を語さらことは、自分の風人大衆を楽しば巻きがていた若い日の旅に行き着り、まだインターネットが考えない。

ジオのざらつきのように。あるいは、誰かの声にまざれて聞こえてくる、懐かしい我響のように。 ページをめくるたび、あなたのなかにも、かつて耳にした旋律が蘇るかもしれない。たとえば、遠い夜のラ

では、ないの本で予定したいのは、そうした。 では、ないの本で予定したいのは、そうした、他堂の記憶)である。それは時代のノイズを超えて、静かに息ばくがこの本で予定したいのは、そうした、他堂の記憶)である。それは時代のノイズを超えて、静かに息づく、人の証しをので、その証しが、あなんの前の典でからく鳴りつづけることを願っている。

1992年型最新プリンスを追え!

[2016年補記]

稿を奇しくも34年後のいま読みかえすと、若書きの印象はどうにも免れない。どうか諒とせられたい。 あんだい おいかい かんと長い時間が経つ。 34歳で書いた原

取材から5年後の1997年、プリンスはグラムスラム本語を手数す。買い取ったのは文中に意識するギルバート・ディヴィソン。プリンスのプネージャーやペイズリーバータ・スタタオ社長を務めた側にだ。「デ・クエスト(The Quest)」と改名して得オープンした同语は、高級ライプントランとして人気を博したが、タエスト(The Quest)」と改名して得オープンした同語は、高級ライプントランとして人気を博したが、失事が買りで質素を終える。プリンスが亡くなるもうと10年後、2006年のことである。

プリンスのお気に入りだったグラムスラム機球店も長くは読みなかった。だが同店で行われたシークレットライプの一部は、DVD「Diamonds And Pearls Video Collection」で載ることができる。

には、日本人ビジネスマンたちと会議室に入ったプリンスが製助書に著名するシーンが、確かにあった。 には、日本人ビジネスマンたちと会議室に入ったプリンスが製助書に著名するシーンが、確かにあった。 には、日本人ビジネスマンたちと会議室に入ったプリンスが製助書に著名するシーンが、確かにあった。 には、日本人ビジネスマンたちと会議室に入ったプリンスが製助書に著名するシーンが、確かにあった。

(1) 観たぞ、リハーサル!! 律儀な「偉大なる短躯」像

現地ミネアポリス潜入記。殿下の秘密はつかめたか!?

「田舎だからほかにやることがないのよ。平和だもの。TVのニュースじゃ、「今日どこそこのカポチャの収穫が行われた」みたいなのやってるし、ピストル殺人なんかあったら連中大騒ぎしてるし……。あーあ。わたしは任みたくないわ」

ボリスで過ごした。故郷のデトロイトではまだプレイク前のWat (Not Was)のメンバーと交流を持ち、現在 247 東京の末はシェレル。言わずと加れたタブ・・レコードの歌版である。元等・タイムのジミー・ジャムをテリ・言わまじン・レール。言わずと加れたタブ・・レコードの歌版である。元等・タイムのジミー・ジャムをデリ・エスの総議のデーンは、故郷のデトロイトではまだプレイク前のWat (Not Was)のメンバーと交流を持ち、現在 247 東京

266

アトランタの挑戦

(1) その歴史と展開

どうよ、地理のセンセイがた

ク・マガジン」の読者諸氏であれば、もちろんであろう。 の音楽状況に詳しいと自負している人たちにとっては、もはや常識とされているようだ。賢明なる「ミュージァ ジョージア州アトランタ。USブラックミュージックの新根地とされる都市。それは多少なりともアメリカジョージアと聞いても自コーヒーを思い浮かべる人が多いんじゃないかと危惧してみるんである。杞憂か。

も添えていれば、中学生もその地方都市に何がしかの興味が薄くだろに。「大阪っていえばお笑いで有名だけと」の集積地」としてしか教えてなかった(気がする)。 音楽好きの教員が「ブリンスの出身地できあ」の一言で のノリで。いや、いなくもないだろうけどね。どうよ、これ読んでる地理のセンセイがた。 いていないらしいのである。考えてみりゃ80年代のミネアポリスの時もそうだった。中学の教科書じゃ「小麦 しかし。これが音楽に興味のない人たちとなると、どうやら話が違うようなんである。彼らの耳には全く居

ほとんど見当たらない。CNNの本拠地にしてコカ・コーラ発祥の地、『風と共に去りぬ』の舞台にしてキン このところオヤジ系週刊誌でよく見かけるアトランタ特集と銘打った記事の中にも、音楽に関しての記述は

グ牧師誕生の地……こういった「特産品」を羅列して一丁あがり的な想通りの記事に終始するのが支配的手法。 もうこうなると地理教師のせいばかりでもあるまいが。

を占める無人客が最も盛り上がったのがこの歌だった。 Train to Georgia)」であろう。彼女にとって唯一の全米ナンパーワンヒットでもあるし。ぼくは95年の4月、 7月にそれぞれしAとニューオーリンズでグラディスのショウを観る機会があったが、コンサート会場の99% グラディス・ナイトのレバートリーの中で最も有名なのはおそらく「夜汽車よ! ジョージアへ (Midnight

フーァ!」と大声を張り上げる8万人の観客のなかに「理想郷としてのジョージア」を見た気がするのは、穿 LAでもニューオーリンズでも起こったこの曲のコール&レスポンス。流れる涙を拭おうともせず「ファ 73年発表ゆえに、すでにスタンダード化しているという事情を第一に考えるのが自然だとは思う。しかし、

られた曲だった)はアトランタのR&Bを語るうえで欠かせないだろう。 ズは、同じジョージア州でもオールバニで30年に産声を上げた。この2曲(「我が心の……」は30年代から知 である。余級ながら「我が心のジョージア(Georgia On My Mind)」を60年にヒットさせたレイ・チャール グラディス・ナイト。44年5月28日、アトランタ生まれ。同地出身で最も大きな成功を収めたR&Bスター

ちはジョージア州オーガスタ。36年にアトランタで生まれたのはチャック・ウィリス。リトル・リチャードは 話ついでに、ジェイムズ・ブラウンは33年サウスカロライナ州パーンウェル生まれだが(28年説あり)、育

かわす園伯。言葉を重ねるうちに、ぼくもこの呼び名をすっテルの名前みたいじゃないの、というぼくの異論を笑顔で

午後、成田・新東京国際空港に集合。旅の目程を確保す 「2・21 MONDAY」

大 適知はつっとした実情を下らの代。 会就はもいでもから、誰りつっされているから、情部総には くされているから、誰りつっされているから、情部総には くされているから、誰りつっされているから、情部総には とがかに自の組みできりが見る。随句の契約の実計を見ていると、効い値、文法の目の記される。 にことを別い出す。さつよめ目の記くかこんと間をしていたのだろう。 実践団におよっぱの別しているのはいました。 外国だった頃の話だ。

ジャーリーグの投手に扮した『Love Of The Game』を方は人それぞれだ。機内上映ではケヴィン・コスナーがメ りスウェットシャツのフードを深くかぶったまま手元の小上映中。ぼくの斜め前に座っている画伯はSARUのロゴ入 タ国際空港までは年日以上かかる。機内での時間の過ごし たのか、こちらを振り向いてにこりと笑った。 ワオーターで口を湿らせる画伯。と、ぼくの視線に気づい さな画面に見入っている。コスナーが投げる。 ノンストップの直行便でもハーツフィールド・アトラン

ハーツフィールド空港に到着、入国審査を通過したぼく

287

地で出っとうな気をするくらい…サイコーでんのこのななのかくコーの サイコーでよた。このをいあれた曲たらは



323



■書誌情報

書名:松尾潔のメロウな記憶

著者:松尾潔

定価: 2,750 円 (本体 2,500 円 + 税 10%)

発売: 2025 年 11 月 21 日 発行: リットーミュージック

商品情報ページ https://www.rittor-music.co.jp/product/detail/3125317103/

CONTENTS

第1章 メロウな日々(赤メロウ)

旅立つまえに

ルーサー! ルーサー! Luther Vandross 「Never Too Much」

痛みという武器 Mary J. Blige 「Real Love」

止まった時計~新しきクラシック Maxwell「Ascension (Don't Ever Wonder)」

特別な日~たかが10年、されど10年 D'Angelo「Brown Sugar」

はじめから見えていた景色 Keith Sweat「Right And A Wrong Way」

これだからやめらんないぜ Keith Sweat「Nobody」

愛とよぶもの Babyface 「Where Will You Go」

喜びも悲しみも幾年月 Maze Featuring Frankie Beverly「Joy And Pain」

変わりゆく、変わらないもの Maze Featuring Frankie Beverly 「Can't Stop The Love」

至上のもの James Brown「Can't Get Any Harder」

趣味を仕事にするということ Quincy Jones「Slow Jams」

第2章 メロウな季節(青メロウ)

ノスタルジア Johnny Gill「My, My, My」

「アメリカの恋人」の恋人 Bobby Brown「My Prerogative」われらの時代 Guy「Goodbye Love」 読み捨てられる新聞紙のように Mariah Carey「Honey」 妹よ Janet Jackson「That's The Way Love Goes」 ブラッドライン Gerald Levert「Baby Hold On To Me」 ブルックリンでスパイク・リーに怒られる

第3章 メロウな記憶―――原風景

90sボーカルグループの新たなサウンド&ダンス ディヴァンテ・スウィング/ジョデシィ登場 いま、男性ボーカルが熱い!か? Souls from Chocolate Pop City 美メロ都市ロンドン考 1992年型最新プリンスを追え!

第4章 アトランタよ! アトランタの挑戦 アトランタ美メロ紀行

PROFILE

松尾 潔 (まつお・きよし)

1968 年、福岡市生まれ。音楽プロデューサー・作家。早稲田大学在学中より R&B ジャーナリストとして活動。「ニュージャックスウィング」をいち早く日本に紹介。豊富な海外取材をベースとした執筆活動やメディア出演を重ね、20 代にしてアメリカの業界誌『BLACK RADIO EXCLUSIVE』に「日本の R&B 市場に最も影響力をもつ人物」と紹介される。

久保田利伸との交流をきっかけに 90 年代半ばから音楽制作に携わり、SPEED、MISIA、宇多田 ヒカルのデビューにブレーンとして参加。その後プロデューサー、ソングライターとして平井 堅、CHEMISTRY、東方神起、SMAP、JUJU 等に提供した楽曲の累計セールスは 3000 万枚を超 す。EXILE「Ti Amo」(作詞・作曲)で日本レコード大賞、天童よしみ「帰郷」で日本作詩大賞、JUJU 『DELICIOUS 2』(アルバムプロデュース)で日本ゴールドディスク大賞〈ジャズ・アルバム・オブ・ザ・イヤー〉を受賞するなど、ヒット曲・受賞歴多数。著書に小説『永遠の仮眠』(新潮 社)、社会時評集『おれの歌を止めるな』(講談社)など。

2010年にスタートした NHK-FM の R&B プログラム「松尾潔のメロウな夜」(DJ・選曲・構成)は、2024年に惜しまれつつ放送終了。本書を含む新「メロウ」シリーズは同番組終了後初めての音楽本となる。

【株式会社リットーミュージック】https://www.rittor-music.co.jp/

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やTシャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等の Web サービスも人気です。

【インプレスグループ】https://www.impressholdings.com/

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:塚本由紀)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリ

ューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営 も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp